



平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月12日

上場会社名 株式会社ティン 上場取引所 JQ
 コード番号 7217 URL <http://www.tein.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)市野 諮
 問合せ先責任者 (役職名)取締役(管理課担当) (氏名)那須 賢司 TEL (045)810-5511
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,443	—	140	—	178	—	101	—
20年3月期第1四半期	1,545	△0.1	248	1.7	282	10.3	172	11.4

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	15	35	—	—
20年3月期第1四半期	26	03	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
21年3月期第1四半期	4,519	3,358	3,358	74.3	506	46		
20年3月期	4,488	3,336	3,336	74.3	502	74		

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 3,358百万円 20年3月期 3,336百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間		
	円	銭	円	銭	円	銭	
20年3月期	—	—	—	15	56	15	56
21年3月期	—	—	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10	49	10	49

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	2,757	—	210	—	205	—	112	—	16	88
通期	5,318	2.0	373	△36.0	364	△32.3	202	△22.4	30	54

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
[新規 1社(社名:天御香港有限公司) 除外 一社]
[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
② ①以外の変更 : 無
[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | | | | |
| | 21年3月期第1四半期 | 6,652,250株 | 20年3月期 | 6,652,250株 |
| ② 期末自己株式数 | | | | |
| | 21年3月期第1四半期 | 20,150株 | 20年3月期 | 15,750株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | | | | |
| | 21年3月期第1四半期 | 6,635,471株 | 20年3月期第1四半期 | 6,636,500株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、長引く原油価格の高騰やサブプライム問題を背景とする米国の景気後退懸念から輸出・生産ともに弱含みの展開となり、企業収益は減少傾向となりました。また雇用情勢の改善には足踏みが見られる中、個人消費は低迷し、消費マインドも悪化するなど、景気の先行きに減速感が強まってまいりました。

カーアフターマーケットにおきましては、欧州地域では緩やかな景気回復を追い風とし、またアジア地域では中国等で景気の拡大が続いていることを背景に旺盛な需要が見られたものの、国内ではガソリン価格の上昇に収束感が見えず、また原材料価格の高騰による各種製品の販売価格の上昇などの消費マインドに水を注す事象が続き、サスペンションにおいても依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループでは、開発型企業としてのより一層の深化を目指した試験研究活動は元より、景気拡大が続く中国市場への販売強化を目的とした香港における現地販売子会社「天御香港有限公司」の設立や、また前期末に開設し、この4月より営業開始となったTEIN U.S.A.のアトランタ営業所など、販売力の強化に軸足を置いた経営施策を実行してまいりました。

しかしながら、国内における用品市場は前述のとおり全般的に低迷し、また北米地域では景気の後退局面入りと言われる中で、販売活動は苦戦を強いられました。なお、アジア・オセアニア地域は引き続き好調に推移いたしました。天御香港有限公司では、設立後間もないこともあり、本格的な稼働には至りませんでした。

これらの結果、当第1四半期の連結売上高は1,443百万円（前年同期比102百万円、6.6%減）、経常利益178百万円（前年同期比104百万円、36.8%減）、四半期純利益101百万円（前年同期比70百万円、41.0%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債および純資産の状況

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度に比べ30百万円増加し、4,519百万円となりました。なお、現金及び預金は、前連結会計年度に比べ29百万円減少し、1,538百万円となりました。

当第1四半期末の負債合計は、前連結会計年度に比べ8百万円増加し、1,160百万円となりました。これは主として、未払法人税等の増加によるものであります。

当第1四半期末の純資産合計は、前連結会計年度に比べ22百万円増加し、3,358百万円となりました。これは主として、四半期純利益の計上にとともなう利益剰余金の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローでは、当第1四半期において営業活動の結果得られた資金は106百万円となりました。これは主として税金等調整前当期純利益の計上179百万円、減価償却費34百万円、売上債権の減少額95百万円、たな卸資産の増加額78百万円、仕入債務の減少額80百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、当第1四半期における投資活動の結果得られた資金は152百万円となりました。これは主として定期預金の払戻による収入200百万円、有形固定資産の取得による支出29百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、当第1四半期における財務活動の結果支出した資金は96百万円となりました。これは主として配当金の支払額94百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内外の経済情勢は、アジア地域では引き続き景気の拡大が見込まれ、旺盛な需要の持続が期待されますが、国内ならびに米国ではサブプライムローン問題や原油高などによる経済の先行きの不透明化が強まっており、景気の減速が懸念されます。

カーアフターマーケットにおきましても、そのような状況の中で、需要低迷の懸念や熾烈な販売競争が継続することが考えられます。

当社グループといたしましては、香港における販売子会社の設立や北米東海岸における営業所の開設などのグローバルな販売体制に基づく営業活動を一層強化するとともに、生産体制の効率化、技術開発体制の拡充、全社的なコストダウン、また品質向上などと合わせて経営基盤の強化に努めてまいり所存であります。

このような中で通期の連結業績予想につきましては、海外営業拠点の新設等による売上高の増加が当社グループの業績に貢献するには一定の期間を要することや、前述のとおり厳しい状況が続いておりますものの、当第1四半期の業績は概ね当初の想定範囲内で推移していることなどを勘案し、平成20年5月15日発表いたしました予想からの変更はありません。

なお、本予想につきましては、本資料の発表の日現在において入手が可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規：天御香港有限公司

新たに設立した天御香港有限公司を連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,538,853	1,567,949
売掛金	370,363	461,987
商品	120,377	90,614
製品	1,103,195	1,035,292
原材料	309,142	294,732
仕掛品	111,238	112,586
その他	269,253	246,935
貸倒引当金	△1,096	△949
流動資産合計	3,821,327	3,809,148
固定資産		
有形固定資産	447,618	448,547
無形固定資産		
その他	26,992	23,769
無形固定資産合計	26,992	23,769
投資その他の資産	223,225	207,192
固定資産合計	697,837	679,509
資産合計	4,519,164	4,488,658
負債の部		
流動負債		
買掛金	394,431	452,754
未払法人税等	84,765	—
その他	380,288	405,720
流動負債合計	859,486	858,475
固定負債		
退職給付引当金	112,140	108,614
役員退職慰労引当金	126,699	124,244
その他	61,900	60,850
固定負債合計	300,739	293,708
負債合計	1,160,225	1,152,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	217,556	217,556
資本剰余金	215,746	215,746
利益剰余金	2,955,756	2,957,127
自己株式	△13,459	△11,587
株主資本合計	3,375,599	3,378,843
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△16,660	△42,368
評価・換算差額等合計	△16,660	△42,368
純資産合計	3,358,938	3,336,474
負債純資産合計	4,519,164	4,488,658

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

売上高	1,443,334
売上原価	791,157
売上総利益	652,176
販売費及び一般管理費	511,774
営業利益	140,401
営業外収益	
為替差益	30,403
その他	8,039
営業外収益合計	38,443
営業外費用	
たな卸資産廃棄損	148
その他	92
営業外費用合計	241
経常利益	178,604
特別利益	
固定資産売却益	459
特別利益合計	459
特別損失	
固定資産除却損	30
特別損失合計	30
税金等調整前四半期純利益	179,032
法人税、住民税及び事業税	87,765
法人税等調整額	△10,625
法人税等合計	77,139
四半期純利益	101,893

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	179,032
減価償却費	34,160
売上債権の増減額 (△は増加)	95,220
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△78,835
仕入債務の増減額 (△は減少)	△80,886
未払費用の増減額 (△は減少)	△13,534
預り金の増減額 (△は減少)	27,387
未払金の増減額 (△は減少)	△48,314
その他	△3,805
小計	110,424
法人税等の支払額	△4,705
その他の収入	990
営業活動によるキャッシュ・フロー	106,709
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	200,000
有形固定資産の取得による支出	△29,712
敷金及び保証金の差入による支出	△14,142
その他	△3,549
投資活動によるキャッシュ・フロー	152,595
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△1,872
配当金の支払額	△94,613
財務活動によるキャッシュ・フロー	△96,486
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,086
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	170,904
現金及び現金同等物の期首残高	1,017,949
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,188,853

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) セグメント情報

①事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

当社グループは、自動車用サスペンションの製造・販売という単一セグメントに属する事業を行っているため、事業の種類別セグメントの記載を省略しております。

②所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	976,578	364,975	101,780	1,443,334	—	1,443,334
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	339,156	618	7,670	347,445	△347,445	—
計	1,315,734	365,594	109,451	1,790,780	△347,445	1,443,334
営業利益(又は営業損失)	130,561	47,161	△10,864	166,858	△26,456	140,401

(注) 1 国または地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国または地域は以下のとおりであります。

北米 : アメリカ
その他 : イギリス、香港、台湾

③海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	北米	アジア・オセアニア	欧州	計
I 海外売上高(千円)	364,975	175,122	100,936	641,034
II 連結売上高(千円)	—	—	—	1,443,334
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	25.3	12.1	7.0	44.4

(注) 1 国または地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域は以下のとおりであります。

北米 : アメリカ、カナダ
アジア・オセアニア : 香港、台湾、オーストラリア
欧州 : イギリス

3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

「参考資料」

前第1四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第1四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額
I 売上高	1,545,782
II 売上原価	790,982
売上総利益	754,800
III 販売費及び一般管理費	506,357
営業利益	248,442
IV 営業外収益	34,224
V 営業外費用	3
経常利益	282,663
VI 特別利益	55
VII 特別損失	35
税金等調整前四半期純利益	282,683
税金費用	109,921
四半期純利益	172,761